

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号539

発生場所	検査室・処置室	精神・意識障害の有無	リスク B. 物の性能のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）		無	
関連したもの	遮蔽板	発生内容の分類 怪我・火傷、衝突・接触	

発生内容

遮蔽板の足（角）に足をぶつけて受傷

概要

P E T検査でF D G投与後患者が椅子から立ち上がり歩き始めた際、遮蔽板の足（角）で左第5趾をぶつけた。看護師は、疼痛の訴えがあったが歩行可能なため安静室へ案内した。患者がC T撮影のため検査台に上がる際にスリッパを脱いだところ、出血していることに放射線技師が気が付いた。左第5趾先端部に皮膚剥離があり、じわじわと出血あり。一旦絆創膏で保護し検査を行い、検査終了後再度確認したところ出血が持続していたため、整形外科へ受診し処置を行った。

要因

- ・ 遮蔽板と患者側の壁との間が十分なスペースがなかった。（少し遮蔽板の足を避けて通る必要があった）
- ・ 遮蔽板は重量があるため、それを支える足は遮蔽板に対し直角に長く設置されていた。
- ・ 遮蔽板の足の角にガードなどはされていなかった。

対策

- ・ 遮蔽板と患者側のスペースを広げた。
- ・ 遮蔽板の足の部分をクッション素材でカバーした。

参照